

第6回 西陣・千両ヶ辻文化検定試験（初級問題）

◇西陣・千両ヶ辻の概論について答えなさい。

- (1) 千両ヶ辻伝統文化祭は今年も、() に位置する薬師町・北之御門町・石薬師町の三町内を中心に開催する。() に入れる最も適当なものを(ア)～(エ)から選びなさい。
(ア) 堀川通 (イ) 智恵光院通 (ウ) 大宮通今出川上ル (エ) 大宮通今出川下ル
- (2) 地域を表す千両ヶ辻及び西陣の呼び名について最も適当なものを(ア)～(ウ)から選びなさい。(ア) 現在は忘れられた呼び名になっている。
(イ) 現在上記の地域名は一般に使われているが、固有名詞は別として公式な住所標記には使われていない。(ウ) 現在も公式な住所標記に使われている。

◇歴史及び謂われ等、千両ヶ辻について最も適当なものを(ア)～(エ)から選びなさい。

- (3) 西陣織の中心地として江戸時代から栄えて来た千両ヶ辻の地名の由来は何か。
(ア) この地で一日千両に値する、主に生糸並びに織物を商ったことから。
(イ) この地は両替商(金融業)中心の町であったから。
(ウ) 江戸時代この地を掘ると千両箱が出て来たから。
- (4) この地はいつの時代から一般に千両ヶ辻と呼ばれたか。
(ア) 江戸時代、元禄(1688～1703)の頃である。
(イ) 江戸時代中期以降、文化文政(1804～1829)の頃である。
(ウ) 江戸時代末期、嘉永安政から明治初期(1848～1875)の頃である。
- (5) 江戸時代より現代まで千両ヶ辻には()を中心に織物問屋並びに両替商(銀行)が営んでいる。
(ア) 織屋[織物メーカー] (イ) 糸染業 (ウ) 生糸問屋 (エ) 金糸屋[金銀糸を扱う糸屋]
- (6) 千両ヶ辻を東西に横切る元誓願寺通りの名の由来は何か。
(ア) 平安時代千両ヶ辻辺りに元誓願寺御所があった。(イ) 室町時代寺院の元誓願寺があった。(ウ) 豊臣秀吉の都市改造以前、千両ヶ辻の東方に誓願寺があった。
- (7) (8) 千両ヶ辻より西へ約600mの地点に平安時代の朱雀大路に該当し京都の街を南北に走る千本通りがある。諸説が存在する中、通りの名前の由来を(ア)～(エ)から二つ選びなさい。
(ア) 卒塔婆千本説(卒塔婆が千本並んでいた) (イ) えんま堂(引接寺)の千本桜説 (ウ) 千本の松並木説(北野天満宮と千本釈迦堂の松並木が遠くに見えた) (エ) 千本の帯の奉納説

◇(平安時代編)最も適当なものを(ア)～(エ)から選びなさい。

千両ヶ辻東、一条戻り橋たもとに位置する(9)は我が国の陰陽道の祖(10)公を御祭神としてお祀りし星型の五芒星の紋を神紋とされている。秀吉時代この地で自刃した千宗易(利休)邸があった。加えて(9)は近年パワースポットとして人気を集めている。

- (9) (ア) 玄武神社 (イ) 建勲神社 (ウ) 水火天満宮 (エ) 晴明神社
(10) (ア) 安倍晴明 (イ) 惟喬親王 (ウ) 蘆屋道満 (エ) 菅原道真

千両ヶ辻の東北(今出川通堀川東入ル飛鳥井町・公家・飛鳥井家の跡地)に崇徳上皇を祭神とする(11)がある。飛鳥井家は伝統の蹴鞠の宗家であり洛中洛外図屏風、上杉本にもそれが描かれている。お社には蹴鞠の神である精大明神が祀られ、スポーツ関係(12)の守護神とされている。球技全般スポーツ界より崇敬を集めている。

- (11) (ア) 晴明神社 (イ) 白峯神宮 (ウ) 建勲神社 (エ) 上御霊神社
(12) (ア) 剣道 (イ) 弓道 (ウ) 柔術 (エ) サッカー等、球技全般

千両ヶ辻西北、糸屋八町域内の桜井町(知恵光院通り今出川上ル西側)にお宮がある。平安時代

末期この地に（ 13 ）の屋敷があったとも伝承されている。源九朗判官義経(牛若丸)が、奥州藤原氏を頼り平泉に赴くに際し、道中の安全をこの地の（ 14 ）に祈願して出立したと云われている。（13）（ア）藤原秀衡 （イ）金売吉次 （ウ）武蔵坊弁慶 （エ）桜井基佐
（14）（ア）三宅八幡宮の末社 （イ）首途八幡宮 （ウ）石清水八幡宮の末社 （エ）還来神社

◇(室町時代編) 西陣の起源について最も適当なものを（ア）～（エ）から選びなさい。

応仁元年（1467）京の都を焦土と化した応仁の乱が起こり細川勝元を大将とする東軍と（ 15 ）を大将とする西軍が入り乱れて戦い両陣営とも地方から続々と兵力を上洛させた。西軍の陣地は現在の堀川通五辻西入ル（ 15 ）邸跡辺りで「西陣」と云う地名の起源である。（ 16 ）という名称は、西軍の本陣跡が由来である。

- （15）（ア）山名宗全 （イ）畠山義就 （ウ）六角高頼 （エ）斯波義廉
（16）（ア）博多織 （イ）桐生織 （ウ）西陣織 （エ）丹後ちりめん

◇(安土桃山時代編) 最も適当なものを（ア）～（エ）から選びなさい。

千両ヶ辻の東方の元誓願寺通ドンツキ辺りに絵師・狩野派の屋敷あった。織田信長は（ 17 ）に贈るために洛中洛外図屏風(六曲一双屏風)の註文に何度も訪れたと伝承されている。

- （17）（ア）武田信玄 （イ）上杉謙信 （ウ）北条早雲 （エ）今川義元

千両ヶ辻と呼ばれ始められた時代の約200余年前、千両ヶ辻の（ 18 ）方向に（ 19 ）が存在した。関白太政大臣の位についた（ 20 ）が造営し、五層の天守を持った城は「聚楽城」とも呼ばれ天正15年(1587)に完成した。その後（ 19 ）を都の中心にし惣構(城郭)として

（ 21 ）を完成させた。天正16年(1588)秀吉は甥の（ 22 ）を関白に就任させ、その城を譲ったが、謀反の廉で文禄4年(1595)（ 22 ）を自刃に追いやると（ 19 ）もことごとく破却した。平成24年画期的な発掘調査〔上長者町通り智恵光院南東角〕により本丸南堀の石垣遺構が発見された。結局巨大な建造物は僅か8年足らずの存在であった。

- （18）（ア）南 （イ）南西 （ウ）西 （エ）南東
（19）（ア）二条城 （イ）聚楽第 （ウ）花の御所 （エ）公家屋敷
（20）（ア）豊臣秀吉 （イ）豊臣秀長 （ウ）徳川家康 （エ）足利義昭
（21）（ア）御土居 （イ）高瀬川の開削 （ウ）公認の茶店、上七軒の確立
（22）（ア）豊臣秀頼 （イ）小早川秀秋 （ウ）豊臣秀勝 （エ）豊臣秀次

天正18年（1590）頃京都にとって後世に残る大画期となった時期であった。豊臣秀吉の都市改造は千両ヶ辻近くにおいても南北の通りが新設された。新設された通りを一つ選びなさい。

- （23）（ア）大宮通 （イ）黒門通 （ウ）猪熊通 （エ）葭屋町通 （オ）堀川通

[正答は二つあり。]

千両ヶ辻の西側近くの聚楽第跡地に存在する、南北の通りである日暮通の由来は（ 24 ）であり、裏門通の由来は（ 25 ）である。

- （24）（ア）日暮が美しい町であった。 （イ）日が暮れる迄、立派で見て楽しめる建物があった。
（ウ）その日暮しの人々が住んでいた。 （エ）聚楽第本丸の日暮門があった。
（25）（ア）平安時代御所の裏の門があった。 （イ）寺院である智恵光院の裏の門があった。
（ウ）二条城の裏の門があった。 （エ）聚楽第本丸の裏の門があった。

千両ヶ辻近くに位置した聚楽第の堀を囲む一帯には諸侯諸大名等の屋敷が立ち並び現在でも多くの町名に名残りを留め、名前の一部に関係事項を町名としている。一条通大宮東入ルの如水町には（ 26 ）、中立売通堀川東入ル甲斐守町には（ 27 ）、上長者町通裏門西入ル高台院町には豊臣秀吉の正室の（ 28 ）、千両ヶ辻の真南側の栄町(旧阿波殿町)には修理大夫阿波守・蜂須賀正勝の屋敷があったと微かに伝承されている。

- (26) (ア) 《築城の名手》藤堂高虎 (イ) 《軍師》黒田官兵衛・孝高
 (ウ) 《豊臣政権五奉行》浅野長政 (エ) 《豊臣政権五奉行. 京都所司代》前田玄以
- (27) (ア) 《主計頭》加藤清正 (イ) 《甲斐守》黒田長政
 (ウ) 《撰津守(キシタン大名)》小西行長 (エ) 《従三位権中納言(独眼竜)》伊達政宗
- (28) (ア) 茶々(淀殿) (イ) お江(崇源院) (ウ) ねね(北政所) (エ) まつ(芳春院)

◇ 幕末時代について最も適当なものを(ア)～(エ)から選びなさい。

元治元年(1864)禁門の変が勃発。嵯峨.天竜寺を陣地とする来島又兵衛等の長州軍は千両ヶ辻の南方面を進軍し京都御所の中立売御門付近で会津・薩摩・幕府連合軍と最初に激突したと云われ、その戦いは別名(29)と云われている。これに抛る大火は(30)と呼ばれていた。千両ヶ辻は被害を免れ、長州軍において長州萩城下の私塾(31)(塾頭吉田松陰)の高弟久坂玄瑞、寺島忠三郎、入江九一等は敗軍となり自刃。

- (29) (ア) 桜田門外の変 (イ) 蛤御門の変 (ウ) 戊辰戦争 (エ) 西南の役
 (30) (ア) どんぐり焼け (イ) 西陣焼け (ウ) どんどん焼け(鉄砲焼け) (エ) 油小路焼け
 (31) (ア) 日新館 (イ) 適塾 (ウ) 古義堂 (エ) 松下村塾

◇ 大学について最も適当なものを(ア)～(エ)から選びなさい。

千両ヶ辻近く東に位置し1875年創立の同志社大学がある。創立者(32)の協力者として、山本覚馬は現在の同大学の今出川校地の敷地を譲り、同志社英学校の創立に大いに協力した。創立に協力した山本覚馬の妹で(32)の夫人(33)は、女子塾・同志社女学校の開設、教育に尽力した。千両ヶ辻より東西半径2kmに位置する衣笠校地と旧広小路校地を有していた、1900年創立の立命館大学(前身は京都法制学校)は創立者中川小十郎、学祖は大正昭和の最後の元老であった

- (34)である。(32) (ア) 徳富蘇峰 (イ) 新島襄 (ウ) 榎村正直
 (33) (ア) 津田梅子 (イ) 下田歌子 (ウ) 新島八重(山本八重) (エ) 大山捨松
 (34) (ア) 松方正義 (イ) 西園寺公望 (ウ) 伊藤博文

◇ 西陣織に関する問題

新政府設立後京都では東京への遷都がもたらした疲弊状況を打破するために、工業を中心的に勧奨するために中央政府の殖産興業政策の中、京都府には先駆的な勸業場が設けられ明治3年外国の情報に明るい(35)を京都府顧問に招聘され、新しい近代京都の礎を作るため二代目知事榎村正直のブレーンとして近代的な産業振興、教育、病院と医学校の改革を劇的に成し遂げた。西陣織の発展に寄与した(36)という、理化学工業研究所を府は設立した。明治5年～14年に掛けて西陣の技術者の〔佐倉常七・井上伊兵衛・吉田忠七(新織法習得)〕〔伊達彌助・早川忠七(織物研究)、中村喜一郎(染法研究)〕〔近藤徳太郎(織物)・今西直次郎(製糸撚糸)・稲畑勝太郎(染色)〕、〔三田忠兵衛・高松長四郎(染色)〕は、新技術習得のため(37)へ留学及び視察に向けて派遣された。習得した新技術は後年西陣及び国内繊維産業発展に大いに寄与した。

- (35) (ア) 勝海舟 (イ) ジョン万次郎 (ウ) 横井小楠 (エ) 山本覚馬
 (36) (ア) 理学校 (イ) 舎密局(せいみ局) (ウ) 開成所 (エ) 勸業館
 (37) (ア) 米国 (イ) 西欧諸国 (ウ) 東欧諸国 (エ) 中国

(38) 西陣織産地では現在帯地・着尺・ネクタイ・金襴・ショールマフラー・室内装飾織物が生産されている。主に生産されている帯地の種類の中で最も多く生産されているものを一つ答えなさい。
 (ア) 袋帯 (イ) 九寸なごや帯 (ウ) 袋なごや帯 (エ) 丸帯

◇ 芸術・文化(琳派)について最も適当なものを(ア)～(オ)から選びなさい。

千両ヶ辻から1km東北及び東に位置する茶道の千家があり、武者小路通小川東入ルには武者小路千家(茶室官休庵)がある。小川通寺之内上ルには表千家(茶室不審庵)、その北側には裏千家があ

り重要文化財の茶室（ 39 ）がある。現在の裏千家家元は十六代千宗室(坐忘斎)である。

(39) (ア) 燕庵 (イ) 如庵 (ウ) 待庵 (エ) 密庵 (オ) 今日庵

2015年は琳派400年祝祭の年である。徳川家康より拝領した鷹ヶ峰の地(現在の光悦寺一帯の広大な地域)の前は千両ヶ辻に近い油小路通今出川上ルの白峯神宮の東向いに琳派の租である（ 40 ）等一族の京屋敷があった。元々（ 40 ）の本職は代々刀剣鑑定家であり陶芸家、書家、オールマイティの芸術家、日本のレオナルドダビンチとして歴史的に高い評価を得ている。

(40) (ア) 俵屋宗達 (イ) 尾形光琳 (ウ) 本阿弥光悦 (エ) 酒井抱一

（ 40 ）に因む文言を一つ選びなさい。(41)

(41) (ア) 光悦村 (イ) 光悦垣 (ウ) 光悦寺 (エ) 光悦煎餅・・・[正答は三つあり。]

元禄時代の絵師で西陣織の図柄に後世影響を与えた呉服商「雁金屋」の倅（ 42 ）、弟の尾形乾山は琳派の担い手である。「雁金屋」は千両ヶ辻近くの智恵光院通中立売辺りに存在したと伝承され、（ 43 ）、本阿弥光悦、（ 42 ）、尾形乾山達が創造した琳派の瑞々しい美意識は、美術・工芸・建築・庭園から衣装・料理・菓子などの幅広い領域に深い影響を及ぼし、現代の様々なデザインにまでその精神と本質は脈々と受け継がれ、私たちはそれを今も享受している。

(42)(43) (ア) 俵屋宗達 (イ) 酒井抱一 (ウ) 鈴木其一 (エ) 尾形光琳

安土桃山時代より現代まで続く琳派の流れは時代、時代の登場人物にどのような方法で伝えられたか。(44)

(ア) 一子相伝 (イ) 師匠から弟子へ (ウ) 口伝

(エ) 私淑(尊敬する人を模範として慕い学ぶ事。)

京・琳派の担い手達の共通した仏教の宗旨を下記より一つ選びなさい。

(45) (ア) 法華宗 (イ) 浄土宗 (ウ) 浄土真宗 (エ) 天台宗 (オ) 禅宗

◇ 千両ヶ辻境界について最も適当なものを（ア）～（エ）から選びなさい。

一条戻り橋について古来より種々の伝承がある。その橋付近に注ぐ小川の東側辺りに「松の下」と云われる地域がある。伝承によると剣豪（ 46 ）の決闘相手の吉岡道場・藍染め工房があったと伝承されている。現在もこの橋には渡ることを忌嫌う（ 47 ）の人々がいる。

(46) (ア) 宮本武蔵 (イ) 柳生十兵衛 (ウ) 塚原朴伝 (エ) 荒木又衛門

(47) (ア) 受験生 (イ) 就職活動中の学生 (ウ) 嫁入り道中 (エ) 葬送の列

千両ヶ辻の南の玄間口には昭和36年迄運行されていた明治45年全線開通のチンチン電車・北野線の大宮中立売と云う電停があった。西行きは（ 48 ）東行きは京都駅が終点であった。現在その電停は市バスの同名のバス停になっている。

(48) (ア) 千本中立売 (イ) 下の森 (ウ) 白梅町 (エ) 北野天満宮

千両ヶ辻伝統文化祭の会場でもある昭和54年開館の京都市登録有形文化財に指定されている京都市考古資料館の建物は開館前、何と云う建物であったか。

(49) (ア) 京都市染織試験場 (イ) 西陣織物館 (ウ) 西陣輸出織物検査場

(エ) 西陣着尺会館

◇ ユネスコ世界文化遺産について

2014年に「富岡製糸場と絹産業遺産群」が登録され、加えて無形文化遺産として京都の和食業界の力強い努力もあり「和食：日本人の伝統的食文化」が登録された。千両ヶ辻境界に在る和食文化を追求する有名料亭を二つ選びなさい。(50) [正答は四つあり。]

(ア) 京料理萬重 (イ) 木乃婦 (ウ) 京料理魚新 (エ) 美濃吉

(オ) 天喜 (カ) 菊乃井 (キ) 萬亀楼 (ク) 瓢亭